

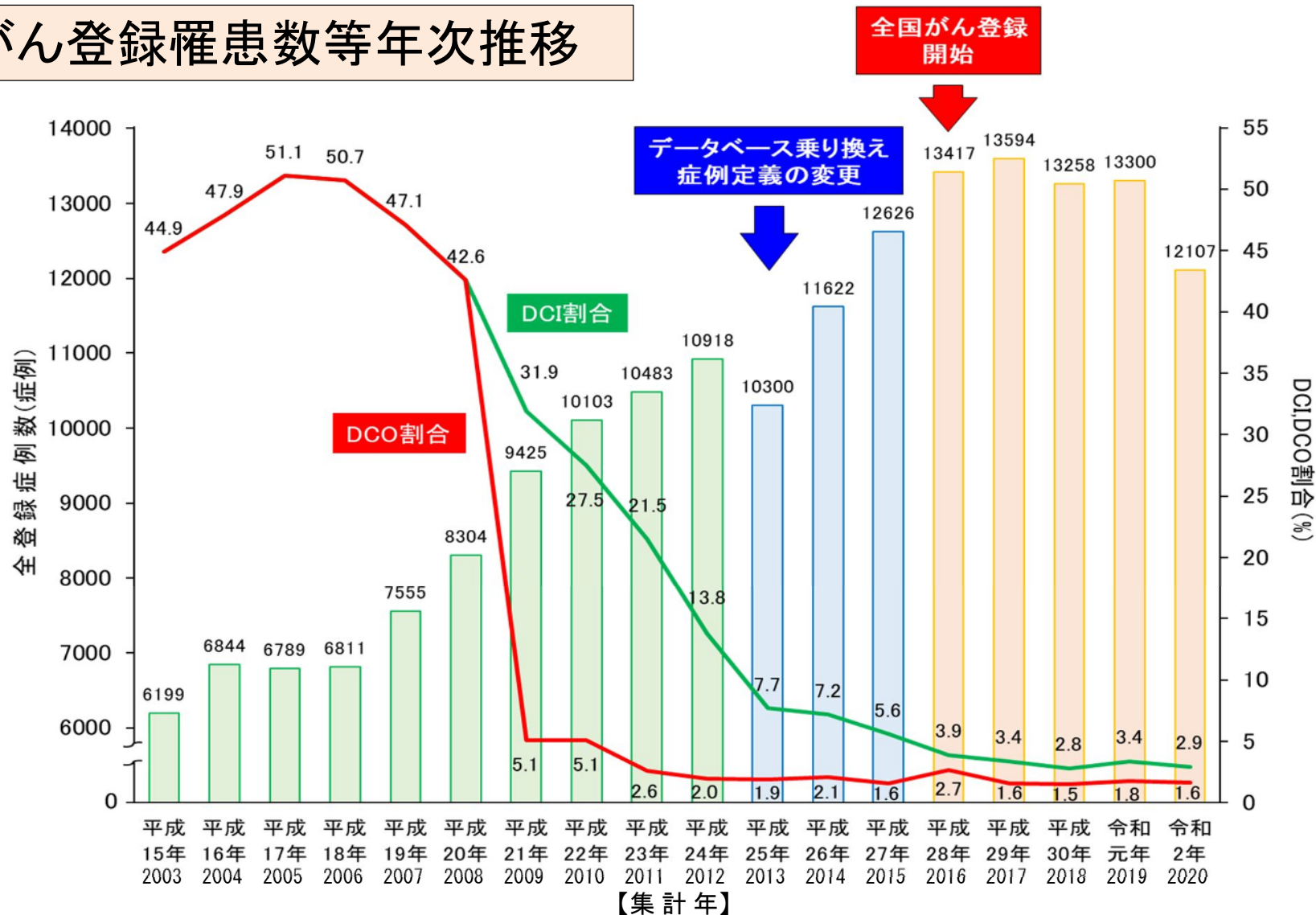
青森県がん登録の実施状況について

青森県がん・生活習慣病対策課

2024(令和6)年12月2日

青森県がん登録事業の実施状況

○がん登録罹患数等年次推移



DCI割合＝死亡情報からがん罹患を把握した症例の割合(登録率の指標)

DCO割合＝遡り調査でも死亡情報しか把握できなかった症例の割合(登録データの正確性の指標)

⇒いずれも数字が小さいほど精度が良く、DCOは国際的な水準では10%以下であることが求められる。

○青森県のがん登録精度向上のための取組

■ follow back（遡り）調査（H24～継続実施）

○地域がん登録標準DBSによる運用：死亡小票のみで登録されている腫瘍（対象者）を抽出し、死亡診断した医療機関に、登録票と同じ様式（遡り調査票）による罹患情報の届出を依頼する。

○都道府県標準DBSによる運用：がん登録等の推進に関する法律第11条に基づき把握した死亡者情報のみで登録されている腫瘍（対象者）を抽出し、死亡診断した医療機関に、全国がん登録遡り調査票による罹患情報の届出を依頼する。

実施年度	調査対象		医療機関数 （依頼）	医療機関数 （有効回答あり）	届出 件数	調査対象年 の全登録数
2017年 （H29）	2014年症例 （H26.1～12月）	地域がん 以降、 全国がん	183 （県内：167、県外：16）	164 （県内：148、県外：16）	1,220	11,622
2018年 （H30）	2015年症例 （H27.1～12月）		177 （県内：157、県外：20）	155 （県内：137、県外：18）	998	12,626
	2016年症例 （H28.1～12月）		85 （県内：85、県外：0）	62 （県内：62、県外：0）	455	13,417
2019年 （R1）	2017年症例 （H29.1～12月）		102 （県内：102、県外：0）	80 （県内：80、県外：0）	389	13,594
2020年 （R2）	2018年症例 （H30.1～12月）		95 （県内：95、県外：0）	90 （県内：90、県外：0）	422	13,258
2021年 （R3）	2019年症例 （H31.1～R元12月）		79 （県内：79、県外：0）	77 （県内：77、県外：0）	429	13,300
2022年 （R4）	2020年症例 （R2.1～12月）		73 （県内：73、県外：0）	72 （県内：72、県外：0）	366	12,107
2023年 （R5）	—		全国がん登録システム不具合により実施なし			—
2024年 （R6）	2021年症例 （R3.1～12月）	73 （県内：73、県外：0）	実施中 （R6.12.27期限）	384	未定	

青森県がん登録事業に係る資料利用に関する取扱要領に基づく申請利用の承認状況

申請者	資料内容	個人同定の可否	利用目的	研究方法・内容	資料の利用期間	申請日	承認日	結果の公表
国立がん研究センター がん対策研究所国際政策研究部 部長 松田 智大	地域がん登録の匿名化情報 (1993年から2015年診断の、青森県全域のがん登録データ)	否	1993年以降の全国のがん罹患を把握し、詳細部位別、年齢階級別、性別、組織型別・治療法別に年次推移や地理的分布を集計する。さらに、がん登録データの精度を考慮した上で、診断年別、詳細部位別、年齢階級別、性別の生存率の年次推移や地理的分布を集計する。	がんの罹患・生存率を性別、年齢階級別、がん種別で経時的及び地理的に分析することにより、がん罹患リスクの解明や、がん医療水準の向上及び均てん化に役立てる。	2023年8月8日 ～ 2026年3月31日 (利用中)	2023年 7月25日	2023年 8月8日	厚生労働科学研究費補助金研究報告書、日本癌学会、日本疫学会、国際がん登録協議会、日本がん登録協議会等の学術集会での発表及び査読のある学術雑誌への論文発表(英文)を行う予定。

青森県全国がん登録に係る情報の提供に関する事務処理要領に基づく申請利用の承認状況

申請者	資料内容	個人同定の可否	利用目的	研究方法・内容	資料の利用期間	申請日	承認日	結果の公表
弘前大学医学部附属病院 准教授 松坂 方士	2013(H25)年～ 2019(R1)年の県内がん登録データ	否	CONCORD-4に参加し、本県のがん登録情報を提供することで、本県のがん生存率を世界比較するため。	標準的な品質管理基準とすべてのデータセットに同じ解析方法を用いて、がん生存率の国際比較を行う研究であるCONCORDチームへデータの提出を行う。	2023年6月28日 ～ 2028年12月31日 (利用中)	2023年 5月22日	2023年 6月28日	日本がん登録協議会学術集会(2026年6月頃)、日本公衆衛生学会総会(2026年11月頃)にて発表予定であり、2027年2月頃に論文投稿により公表予定。

申請者	資料内容	個人同定の可否	利用目的	研究方法・内容	資料の利用期間	申請日	承認日	結果の公表
青森県 がん・生活習慣病 対策課 (がん検診精度管理事業分)	2018(H30)年度～ 2019(R1)年度の県内 16市町村のがん登録 データ	可	がん登録データ等から参加 市町村のがん検診精度を評 価し、課題を把握することによ り、市町村がん検診の精度向 上を図り、今後のがん対策の 企画・実施に活用していく。	参加市町村の2018(H30)年度 のがん検診データと2018(H30) 年度～2019(R1)年度のがん登 録データの照合により感度や特 異度を算出し、参加市町村全 体、市町村ごとのがん検診精 度等を比較・考察し、精度管 理向上に向けた課題等を明ら かにする。	2023年11月15日 ～ 2025年3月31日 (利用中)	2023年 10月4日	2023年 11月15日	事業報告書として公表す る。(令和6年度) なお、青森県事業報告後、 報告書を引用する形で厚生 労働科学研究費補助金(が ん政策推進総合研究事業) 「がん登録を利用したがん検 診の精度管理方法の検討の ための研究」班からも結果が 公表される。
青森県 がん・生活習慣病 対策課 (青森県がん登録 報告書分)	2020(R2)年の県内がん 登録データ	否	青森県内のがん罹患や死 亡の状況について考察するこ とで、今後のがん対策の企 画・実施に活用していく。	青森県内の2020(R2)年のがん 登録データについて、罹患の概 要、死亡の概要等を取りまとめ 、5年生存率等を算出し、青森 県内のがん罹患や死亡の状況 について考察する。	2023年11月15日 ～ 2025年3月31日 (利用中)	2023年 10月4日	2023年 11月15日	全国がん登録青森県がん 登録報告書として公表する。 (令和6年度)
八戸赤十字病院 院長 紺野広	2016(H28)年診断症 例のうち予後情報が 追跡出来ていない データ	可	院内がん登録のため。	—	2024年9月30日 ～ 2025年3月31日 (利用中)	2024年 9月2日	2024年 9月30日	2025年3月頃に院内の紀 要にて公表予定。(令和6年 度)
青森県 がん・生活習慣病 対策課 (がん検診精度管 理事業分)	2019(R1)年度～ 2020(R2)年度の県内 18市町村のがん登録 データ	可	がん登録データ等から参加 市町村のがん検診精度を評 価し、課題を把握することによ り、市町村がん検診の精度向 上を図り、今後のがん対策の 企画・実施に活用していく。	参加市町村の2019(R1)年度 のがん検診データと2019(R1)年 度～2020(R2)年度のがん登 録データの照合により感度や特 異度を算出し、参加市町村全 体、市町村ごとのがん検診精 度等を比較・考察し、精度管 理向上に向けた課題等を明ら かにする。	審査中	2024年 10月25日	審査中	事業報告書として公表す る。(令和7年度) なお、青森県事業報告後、 報告書を引用する形で厚生 労働科学研究費補助金(が ん政策推進総合研究事業) 「がん登録を利用したがん検 診の精度管理方法の検討の ための研究」班からも結果が 公表される。
青森県 がん・生活習慣病 対策課 (青森県がん登録 報告書分)	2021(R3)年の県内がん 登録データ	否	青森県内のがん罹患や死 亡の状況について考察するこ とで、今後のがん対策の企 画・実施に活用していく。	青森県内の2021(R3)年のがん 登録データについて、罹患の概 要、死亡の概要等を取りまとめ 、5年生存率等を算出し、青森 県内のがん罹患や死亡の状況 について考察する。	審査中	2024年 10月25日	審査中	全国がん登録青森県がん 登録報告書として公表する。 (令和7年度)